

宿泊療養施設の確保について

- 新型コロナウイルス感染者の急増により、8月1日に総入所者が2,000人を超え、確保計画に基づいた、運用フェーズ5の6,000室を順次確保。

○ フェーズ4からフェーズ5への移行状況

8月15日時点運用施設数(室数) 15施設 4,148室				
新規開設施設の状況				
施設数	施設名	所在地	室数	新規開設状況
1	スマイルホテルプレミアム大阪本町	中央区	286	8/16
2	ホリデイ・イン大阪難波	中央区	282	8/17
3	東横イン大阪伊丹空港	豊中市	270	8/18
4	ライズホテル大阪なんば	浪速区	284	8/19予定
5	東横イン淀屋橋駅南	中央区	348	8/21予定
6	東横インあべの天王寺	西成区	381	8/25予定
合計			1,851	

○ 宿泊療養施設確保計画

運用フェーズ	施設室数	次フェーズ 移行の判断基準 下記基準と感染拡大状況から総合的に判断
		感染拡大時
フェーズ1	800室	およそ240人以上※ → フェーズ2移行準備
フェーズ2	1,600室	およそ800人以上 → フェーズ3移行準備
フェーズ3	2,400室	およそ1,200人以上 → フェーズ4移行準備
フェーズ4	4,000室	およそ2,000人以上 → フェーズ5移行準備
フェーズ5	6,000室	-

※ 総入所者数(8/1時点2,004人)

合計 5,999室 確保

さらに大阪南部の宿泊施設を準備中